



Delegation of the European Union  
欧州連合代表部

## 公開講座

科学・イノベーション・デジタル・その他EU政策部

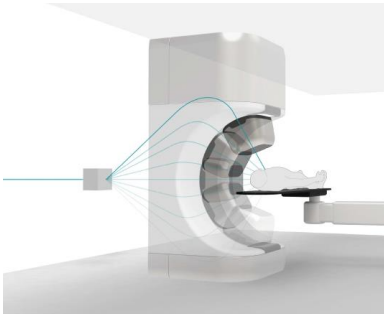


2021年9月17日

## スロヴェニアと日本の研究協力の成功例をコジーラボ社が紹介

9月17日、スロヴェニアに本社を置くコジーラボ社のロク・フロヴァティン氏が、駐日EU加盟国大使館の科学技術参事官や科学技術イノベーション関係者に向けてオンライン講義を行いました。核融合反応器、陽子線がん治療装置、核加速器の制御システムを供給するの世界有数の企業供給者である一方同社は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の支援を受けて、日本の陽子線治療装置製造のスタートアップに出資を行っているの生産をする投資者です。また一方、岩手大学およびと東北大学と協力して、岩手県で核融合炉やとILCプロジェクトに取り組んでいます。講演でフロヴァティン氏は、コジーラボ社の活動概要に触れ、日本との共同研究の成功事例を紹介しました。

[https://eeas.europa.eu/sites/default/files/cosylab\\_japan\\_presentation.pdf](https://eeas.europa.eu/sites/default/files/cosylab_japan_presentation.pdf)



次世代放射光施設建設工事 2021年5月15日上空写真



As of 2021/05/15 (<https://www.phosic.or.jp/construction.html>)

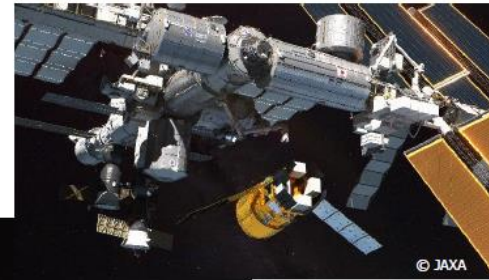




2021年7月15日

## 内閣府が日本の宇宙活動についてオンライン講演

7月15日、内閣府宇宙開発戦略推進事務局の岡村直子審議官が、EU加盟国大使館の科学技術参事官と商務参事官を対象に講演を行いました。講演の中で岡村氏は、国家宇宙政策から将来的に国際協力を促進する可能性のある研究や、探査および商業活動の簡単な紹介に至るまで、官民両部門の宇宙活動の全体像を説明しました。また、岡村氏は、さらなる関心があれば日本政府は次の段階として特定の宇宙活動の詳細を提供するため、公的・民間部門の業界関係者を招待する準備ができていると述べました。

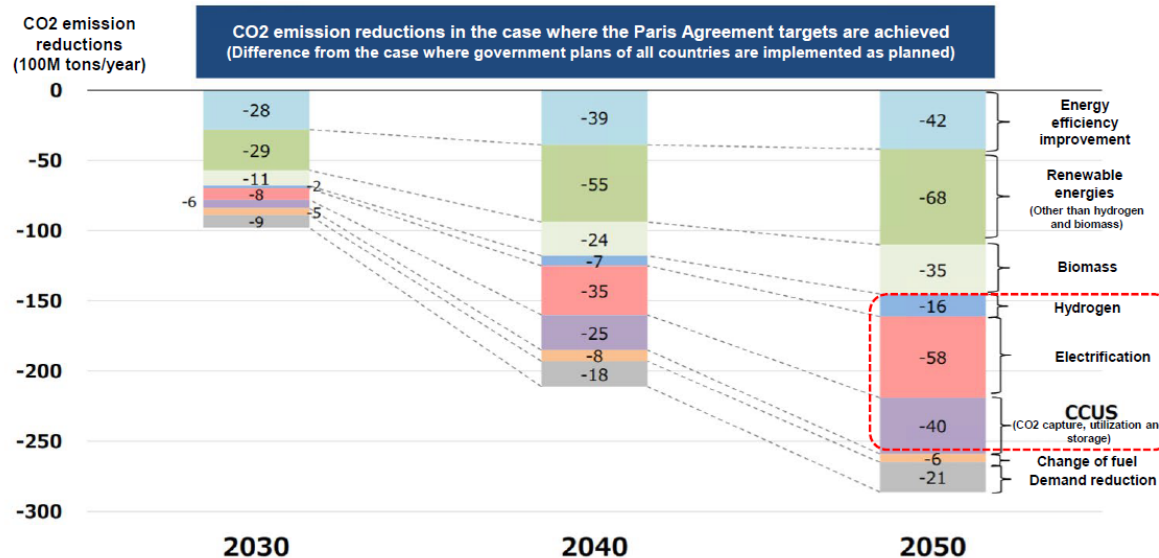




2021年6月18日

## 経済産業省がグリーンイノベーション基金についてオンライン講義

6月18日、経済産業省産(METI)産業技術環境局環境政策課の笠井康カーボンニュートラルプロジェクト推進室長が、駐日EU加盟国大使館の科学技術参事官や科学技術イノベーション関係者に向けて講演を行ないました。METIは、2050年までにカーボンニュートラルを達成するという目標に向けて、METIは、新エネルギー・産業技術総合開発機構にの一環として2兆円のグリーンイノベーション基金を設立し、10年間の研究開発プロジェクト、実証、社会実装プロジェクトを継続的に支援しています。それに際し、笠井氏は本講演で基金の背景・概要や、構想および日程などを紹介しました。





2021年5月21日

## 文部科学省と国立極地研究所が第3回北極科学大臣会合について講演

5月21日にハイブリッド形式で行われた公開講演会で、文部科学省(MEXT)研究開発局海洋地球課の木村元副所長と国立極地研究所(NIPR)の末吉哲雄特任准教授は、駐日加盟国科学参事官らに講演を行いました。講演の中で両者はASM3共同声明からのいくつかのポイントに触れながら、第3回北極科学大臣会合(ASM3)のサイエンスプロセスと、北極科学における日本の最近の進展の概要について説明しました。

講演資料: [https://eeas.europa.eu/delegations/japan/98952/mext-and-nipr-gave-lectures-asm3\\_en](https://eeas.europa.eu/delegations/japan/98952/mext-and-nipr-gave-lectures-asm3_en)

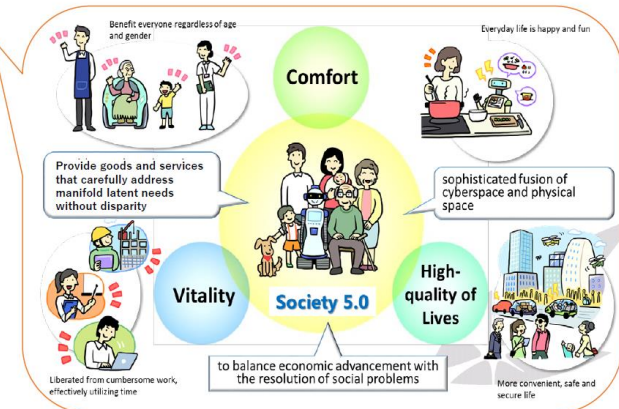
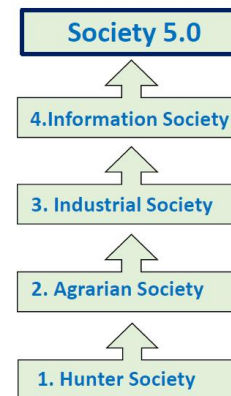


2021年4月23日

## 内閣府が第6期科学技術・イノベーション基本計画について講演

4月23日、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局の篠澤康夫企画官は、駐日EU加盟国大使館の科学技術参事官らに第6期科学技術・イノベーション基本計画(2021～2025年度)の概要を説明しました。講演の中で篠澤氏は、日本のSTIの展望に影響を与えると予想される計画の新しい要素や国際的側面、また内閣府および関係省庁が想定する具体的な行動について説明しました。

講演資料: [https://eeas.europa.eu/sites/default/files/210423\\_6th\\_sti\\_basic\\_plan\\_r.pdf](https://eeas.europa.eu/sites/default/files/210423_6th_sti_basic_plan_r.pdf)





2021年3月26日

## 日・EU共同核融合エネルギー研究の最新状況に関するオンライン講義

3月26日、駐日EU加盟国大使館の科学技術参事官らを対象に、表題についての一連の講演が行われました。まず、スザンナ・ロレンツィオ博士はブローダーアプローチ協定における国際核融合エネルギー研究センター(IFERC)の活動とその役割について紹介しました。フィリップ・カラ博士は、協定に基づいて国際核融合材料照射施設(IFMIF)にて行われている、エンジニアリング検証およびエンジニアリング設計活動(EVEDA)段階にて進行中のプロジェクト概要を説明しました。また、サム・デビス博士は、「サテライト・トカマク」とも呼ばれる、国際熱核融合実験炉(ITER)計画をサポートするためのJT-60SA装置の進捗状況について発表しました。

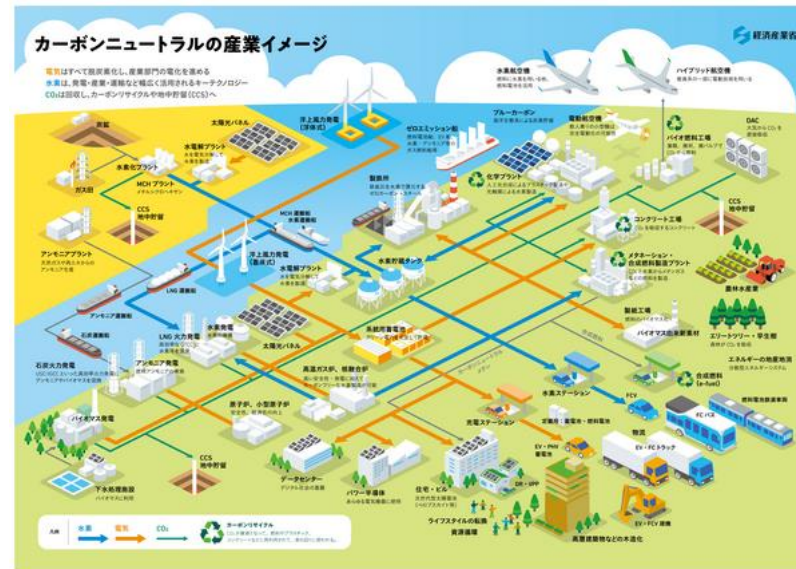
講演資料: [https://eeas.europa.eu/delegations/japan/96017/node/96017\\_ja](https://eeas.europa.eu/delegations/japan/96017/node/96017_ja)



2021年2月26日

## 経産省がグリーン成長戦略についてオンライン講演

2月26日、経済産業省産業科学技術環境局の上原英司国際室長が、駐日EU加盟国大使館の科学技術参事官らを対象に「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」について、オンライン講演を行いました。講演の中で上原室長は、脱二酸化炭素に関する現在の課題と、それに必要な14の優先分野における行動計画に焦点を当てました。また、日本における研究開発戦略や、EUをはじめとする国際社会との科学技術イノベーション(STI)に関する協力について言及しました。





2021年1月22日

## JSTが「未来社会創造事業」の国際的活動の概要についてオンライン講演

1月22日、科学技術振興機構(JST)で未来創造研究開発推進部調査役を務める今林文枝氏が、2017年に始動した同機構の未来社会創造事業(JST-Mirai Program)の概要について駐日EU加盟国大使館の科学技術参事官らを対象にオンライン講演をしました。今林氏は、プログラムが社会的および経済的影響につながる高リスクで影響力のある 研究開発の促進を目標にしていると言及。また、その他には、国際的な活動の紹介に加えて進行中の研究開発分野を含むプログラムの資金調達と管理計画 についても説明しました。

講演資料: [https://eeas.europa.eu/sites/eeas/files/20210122\\_jst\\_mirai\\_to\\_eu\\_cousellor\\_mtg\\_final.pdf](https://eeas.europa.eu/sites/eeas/files/20210122_jst_mirai_to_eu_cousellor_mtg_final.pdf)



JST-Mirai Program



2020年12月11日

## MEXTとNISTEPが「科学技術白書2020」について講演

12月11日、文部科学省(MEXT) 科学技術・学術戦略官(国際担当)の有賀理氏と、同省科学技術・学術政策研究所(NISTEP)総務研究官の岡谷重雄氏が、駐日EU加盟国大使館の科学技術参事官らに「科学技術白書2020」について講演を行いました。講演では、科学技術分野における国際協力の例にも触れ、また、日本の科学技術活動を理解・分析するための基本ツールである科学技術指標を使用した研究成果について説明しました。



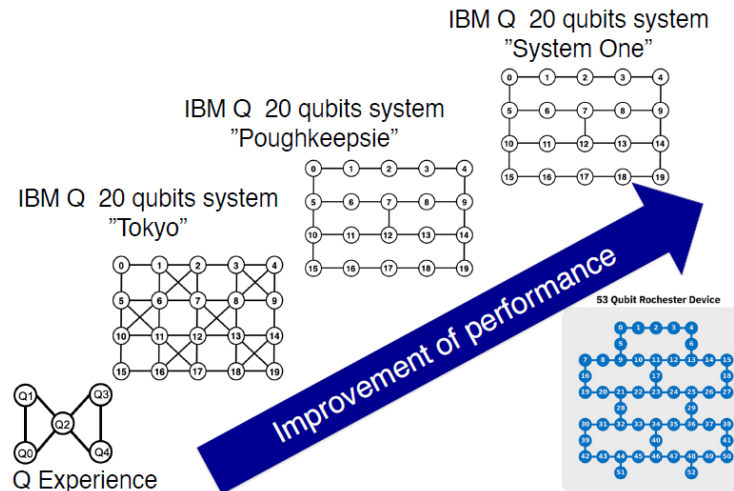


2020年11月27日

## 慶應義塾大学理工学部の教授が日本の量子コンピューティングについて講演

11月27日、慶應義塾大学理工学部の伊藤公平教授は、日本政府と産業界が主導する量子コンピューティングの研究開発について、EU加盟国大使館の科学技術担当参事官らに説明しました。伊藤教授は発表の中で、量子技術に関するイノベーション指向のプログラムや、慶應義塾大学を含む大学や国立研究所で行われている「IBM Q Network Hub @ Keio University」と呼ばれる業界支援研究プログラムを紹介しました。

講演資料: [https://eeas.europa.eu/sites/eeas/files/11\\_27\\_kohei\\_ito\\_h\\_keio\\_univ.pdf](https://eeas.europa.eu/sites/eeas/files/11_27_kohei_ito_h_keio_univ.pdf)

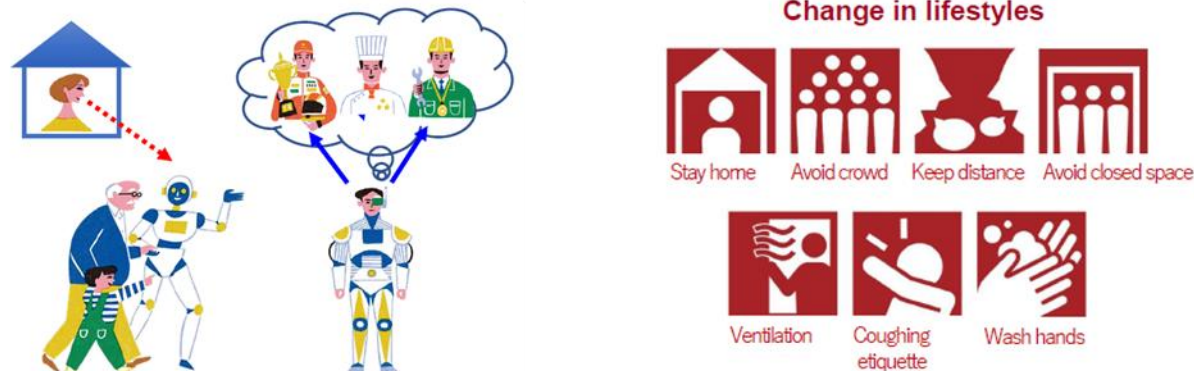


2020年10月22日

## JSTが ムーンショット型研究開発制度とCOVID-19への取り組みについて講演

2020年10月22日、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の川端賢氏と今津杉子氏は、EU加盟国大使館の科学技術担当参事官らに、JSTのムーンショット型研究開発制度と新型コロナウイルス感染症への取り組みについてそれぞれ説明しました。最初の講演では、危機後の社会と経済の課題に取り組むことを目的とした、ムーンショットの目標作成を支援する「ミレニアムプログラム」が紹介されました。続いて、今津氏は、工学や情報技術、ナノテクノロジーなど、医学以外の知識を活用・結集することにより、人々の活動の制限を最小限に抑えることを提案する「プランB」を紹介しました。

講演資料: [https://eeas.europa.eu/sites/eeas/files/eu\\_st\\_counsellor\\_meeting\\_20201022\\_1\\_kawabata.pdf](https://eeas.europa.eu/sites/eeas/files/eu_st_counsellor_meeting_20201022_1_kawabata.pdf)  
[https://eeas.europa.eu/sites/eeas/files/eu\\_st\\_counsellor\\_meeting\\_20201022\\_2\\_imazu\\_web.pdf](https://eeas.europa.eu/sites/eeas/files/eu_st_counsellor_meeting_20201022_2_imazu_web.pdf)





2020年7月17日

## AIST の理事が Society 5.0 についてオンライン講演

2020年7月17日、産業技術総合研究所 (AIST) の関口智嗣理事とローレンツ・グランラス博士は、サイバーフィジカルシステムの研究と製造業のAIへの転換を通じた Industry 4.0 から Society 5.0 への移行をリードする上でのAISTの役割について、在日のEU加盟国科学技術担当参事官らにオンライン講演を行いました。両者は講演中、欧州の団体・機関などとの協力例についても触れました。

講演資料: [https://eeas.europa.eu/delegations/japan/83971/node/83971\\_en](https://eeas.europa.eu/delegations/japan/83971/node/83971_en)



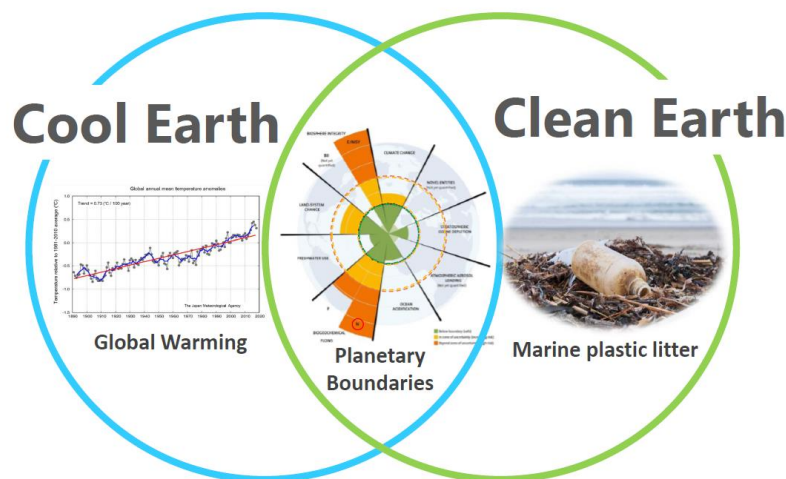


2020年6月26日

## NEDO のムーンショット型研究開発事業促進室長がオンライン講演

2020年6月26日、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のムーンショット型研究開発事業促進室長である山田宏之氏は、目標4における機構の役割と国際協力の実施につき、在日のEU加盟国科学技術担当参事官らに説明をしました。

講演資料: [https://eeas.europa.eu/sites/eeas/files/06\\_26\\_hiroyuki\\_yamada\\_nedo.pdf](https://eeas.europa.eu/sites/eeas/files/06_26_hiroyuki_yamada_nedo.pdf)



2020年3月27日

## AMED の理事長が駐日欧州連合代表部で講演

3月27日、日本医療研究開発機構(AMED)の末松誠理事長が駐日欧州連合(EU)代表部を訪問し、EUとその加盟国の在日科学技術担当参事官に向けて講演を行い、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大への対応で果たすAMEDの役割や協力の機会に関して意見交換を行った。末松理事長は、新型コロナウイルス対策関連の研究開発の取り組みに関する主要7か国(G7)の議論でも主要な役割を果たしている。講演の中で、末松理事長は、約1億6,000万ユーロに上るAMEDの2020年度補正予算の大半は、海外のパートナーとの連携も視野に入れた、新型コロナウイルス対策関連の研究事業に割かれる見通しだと述べた。また、体外式膜型人工肺(ECMO)国際ネットワーク(ECMONet)やGloPID-R(Global Research Collaboration for Infectious Disease Preparedness: 感染症のアウトブレイクに対する国際連携ネットワーク)、EDCTP(European and Developing Countries Clinical Trials Partnership: 欧州・開発途上国臨床試験プログラム)に基づくEUとの連携を高く評価するとともに、ドイツのCureVac社の研究など、さらなる連携の検討に関心を示した。

[https://eeas.europa.eu/sites/eeas/files/how\\_to\\_tackle\\_covid-19\\_in\\_amed\\_eu\\_del\\_27.03.2020.pdf](https://eeas.europa.eu/sites/eeas/files/how_to_tackle_covid-19_in_amed_eu_del_27.03.2020.pdf)

[https://eeas.europa.eu/delegations/japan/78351/video-lecture-president-amed-eu-delegation-japan-27-march-2020\\_en](https://eeas.europa.eu/delegations/japan/78351/video-lecture-president-amed-eu-delegation-japan-27-march-2020_en)

2020年1月24日

「日本の海洋プラスチック研究の現状 東京大学・日本財団の協力事業を中心に」

講演者: 東京大学大気海洋研究所附属国際連携研究センター 道田 豊センター長・教授

